

●この説明書は、必ず施工される方にお渡しください。 ※  内は、ロットNo.表示位置を示します。

■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。 冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

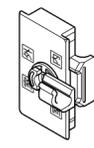
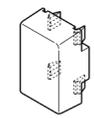
- 本製品は複層ガラスを使用するため、かなりの重量がかかります(上げ下げ窓B型PG時)。障子の外れ・落下防止のため、下記事項を厳守してください。
- ・窓台は45×100mm以上、間柱は30mm以上の材料で開口部を作ってください。
- ・開口部を付け枠等でふかす(調整する)場合は、一体物と同じ強度になるよう取り付けてください。
- ・指定のスクリーナ釘・木ねじで枠を固定してください。
- 漏水防止のため、下記事項を厳守してください。
- ・本製品取付け後、枠と躯体の取合わせ部に防水テープ(別売り)を張ってください。
- ・防水テープと枠との納まりについては、防水テープ取扱い説明書を参照してください。

■施工上のお願い

●バランス部品箱は別売りです。

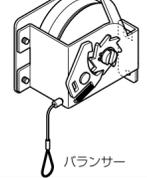
■取付け部品・ねじ一覧表

※本文図中の①～⑥は、部品・ねじの種類を示します。

①	②	③	④	⑤
				
φ2.1×32スクリーナ釘	φ3.5×20皿木ねじ	アームスライダー	障子ストッパー	M4×8平小ねじ(先付)

■バランス部品箱(別売り)一覧表

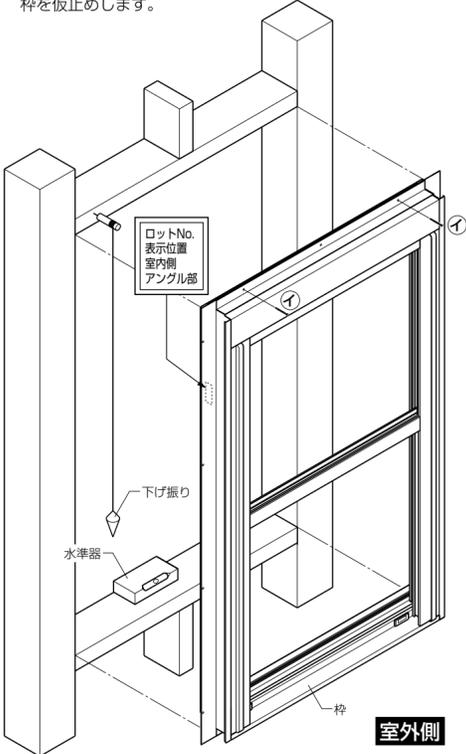
※本文図中の⑦・⑧は、部品・ねじの種類を示します。

バランス取付け用	
⑦	⑧
	
M4×10バインド小ねじ	バランス

■取付け順序

1 枠の仮止め

●開口部の水平・垂直を確認し、枠を仮止めします。

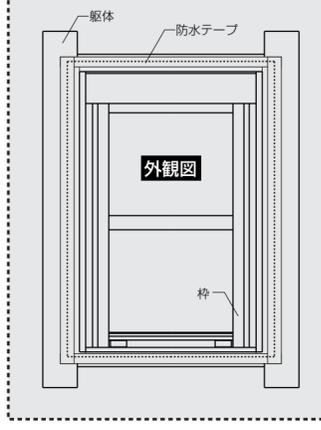


2 枠の調整と固定

●下げ振り・水準器で枠のねじれ・倒れ・ゆがみを直した後、固定します。
 ※固定後、必ずバランスの調整を行ってください。
 ※枠の水平・垂直を正確に出して取り付けください。開閉不良の原因になることがあります。
 ※上枠カバー材が取り付けられている場合は、一旦外してから②の皿木ねじを固定してください。(7上枠カバー材の取付けを参照ください。)

▲注意

●本製品取付け後、枠と躯体の取合わせ部に防水テープ(別売り)を張ってください。

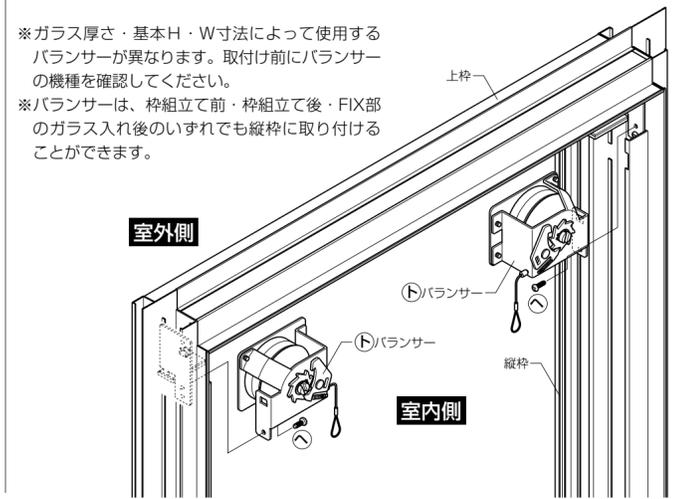


3 バランスの取付け

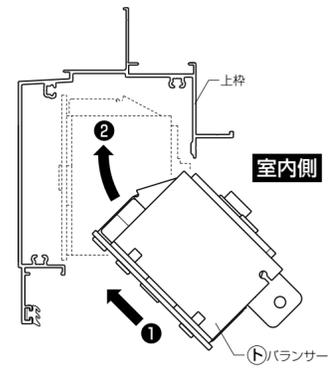
■お願い

※障子建込み前にバランスのワイヤーを引き出したり、ラチェットホイールを回したりは絶対にしないでください。障子が建て込めなくなったり、バランスが破損したりすることがあります。
 ※バランスの正面に部品番号の刻印がありますので、その末尾で、L(内観左)・R(内観右)を確認してください。

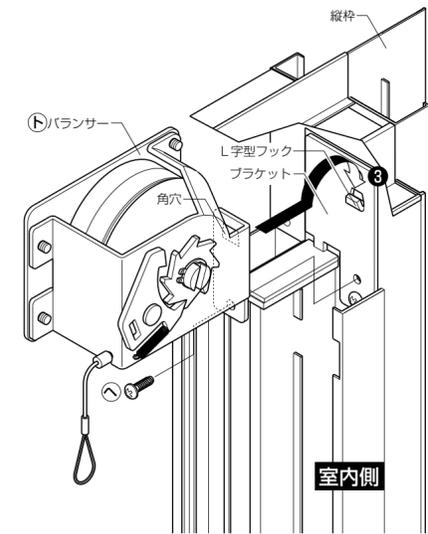
※ガラス厚さ・基本H・W寸法によって使用するバランスが異なります。取付け前にバランスの機種を確認してください。
 ※バランスは、枠組立て前・枠組立て後・FIX部のガラス入れ後のいずれでも縦枠に取り付けることができます。



①バランスを45°傾けて、上枠に差し込みます。
 ②バランスの軸が室内側正面を向くように回転させて上枠に納めます。

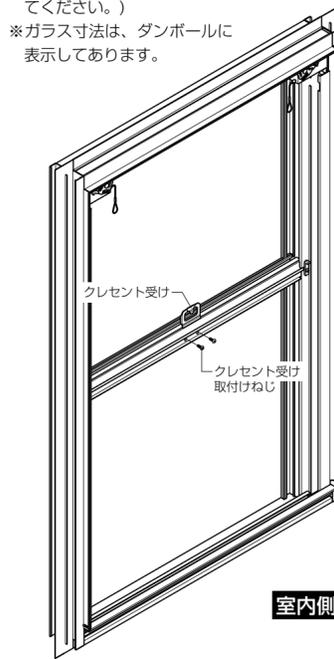


③バランスを縦枠側にスライドさせ、縦枠についているブラケットのL字型フックにバランスの角穴を引っ掛けます。
 ④バランスをブラケットにねじ止めします。
 ⑤同様にもう一方のバランスを取り付けます。

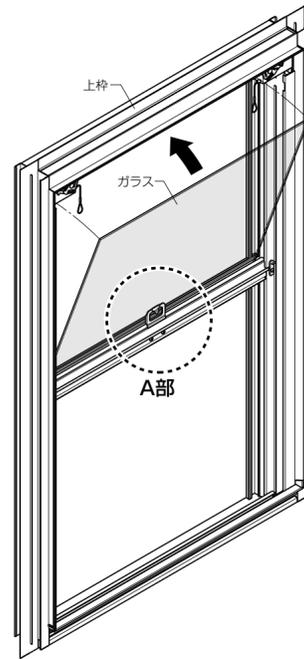


4 FIX部のガラス入れ

①クレセント受けのねじを外します。(複層ガラス仕様の場合は、クレセント受けも外してください。)
 ※ガラス寸法は、ダンボールに表示してあります。

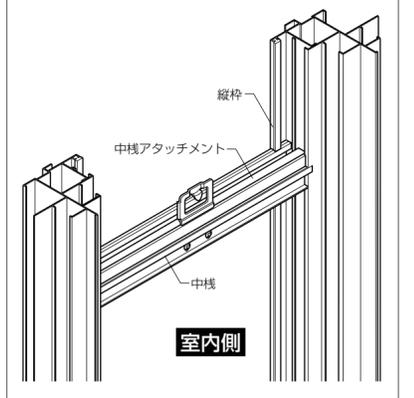


②ガラスを入れます。(A部詳細図)
 ※複層ガラス仕様の場合は、この後クレセント受けを戻してください。

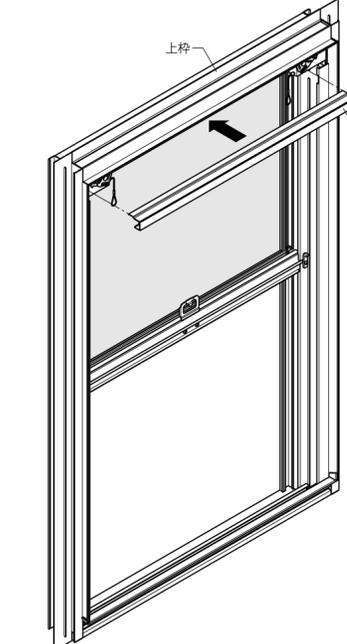


■A部詳細図

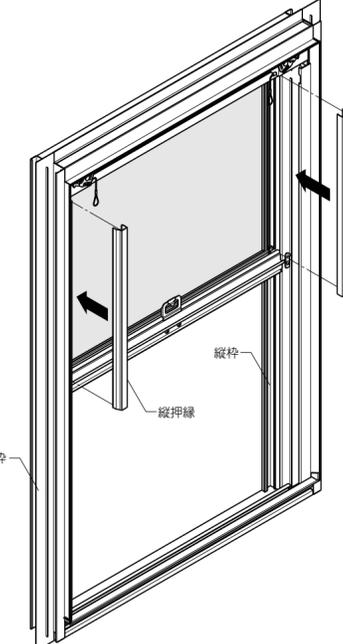
※FIX部にガラスを入れる前に、中棧アタッチメントがきちんと掛かっていることを確認してください。(複層ガラス仕様の場合、中棧アタッチメントはありません。)



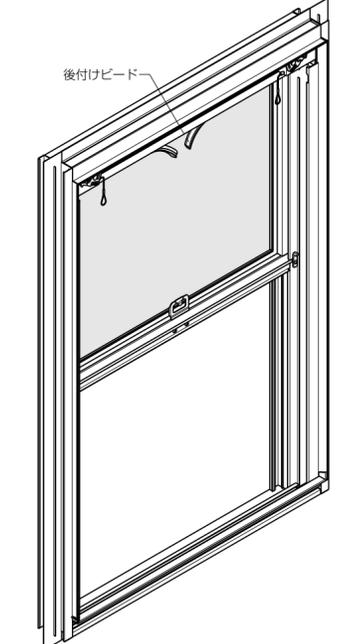
③上押縁を取り付けます。



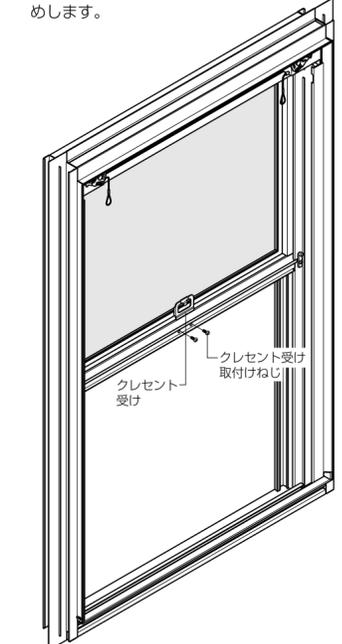
④縦押縁を取り付けます。



⑤後付けビードを回します。



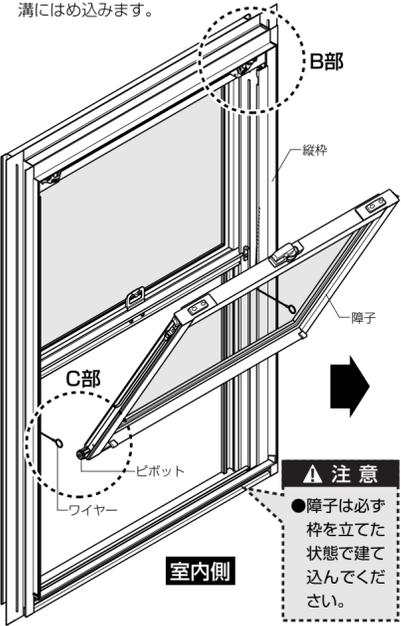
⑥クレセント受けをねじ止めします。



■取付け順序

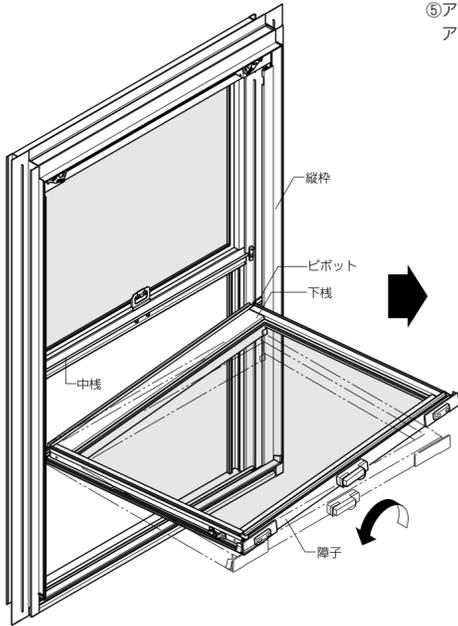
■障子の建込み

- ① バランサーに引っ掛かっているワイヤーを外し、縦枠内に垂下します。
- ② ワイヤーの先端をピボットの溝にはめ込みます。

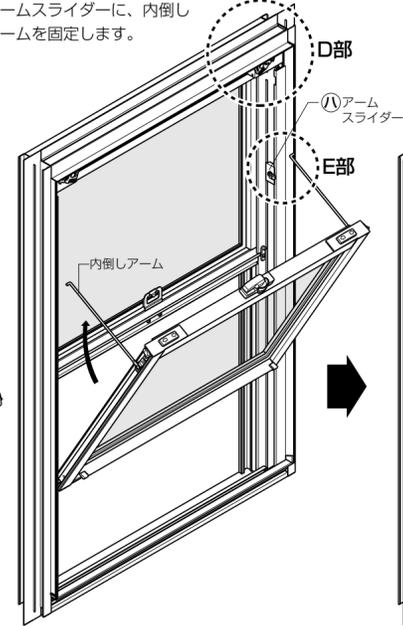


▲注意
●障子は必ず枠を立てた状態で建て込んでください。

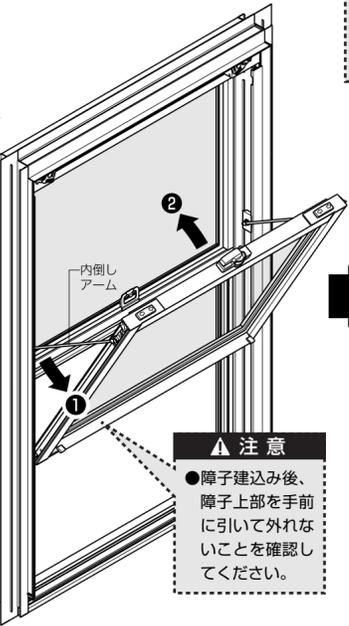
- ③ 障子の下棧を中棧より下に引き下ろし、障子を斜めにしてピボットを縦枠の中に差し込みます。



- ④ アームスライダーの「室内」表示を室内側に向け、縦枠の切欠きから差し込みます。
※H907未満には内倒しアームがついていませんので、アームスライダーは使用しません。
- ⑤ アームスライダーに、内倒しアームを固定します。



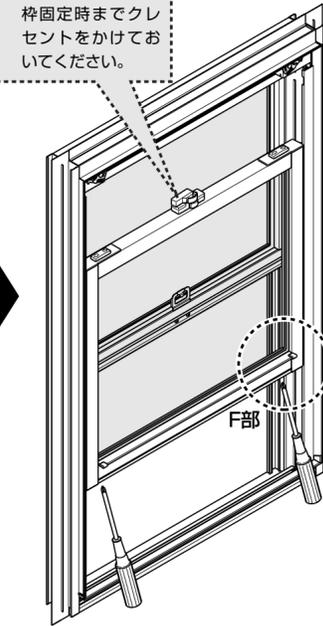
- ⑥ 内倒しアームを押し下げながら(1)、障子を起こし、「カチッ」という音がするまで室外方向に押し付けます。(2)



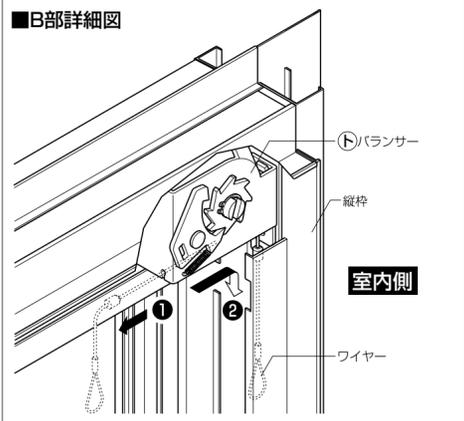
▲注意
●障子建込み後、障子上部を手前に引いて外れないことを確認してください。

- ⑦ ピボットのねじ位置を調整します。

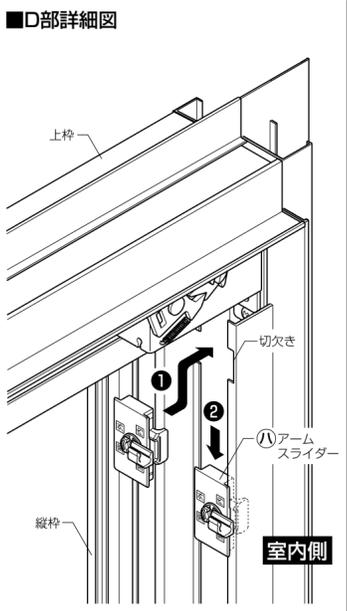
▲注意
●障子建込み後は、枠固定時までクレンザーをかけておいてください。



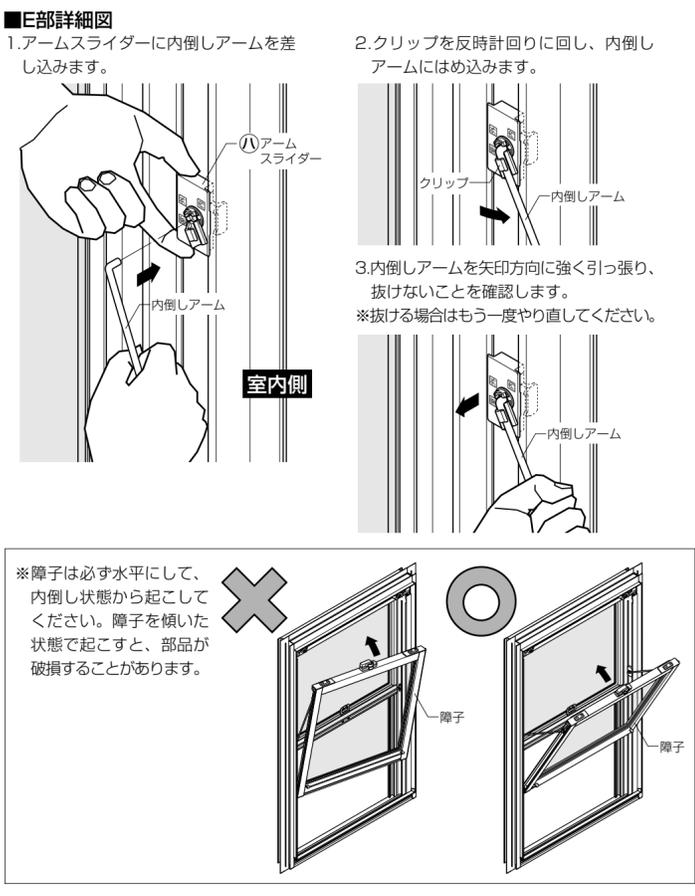
■B部詳細図



■D部詳細図

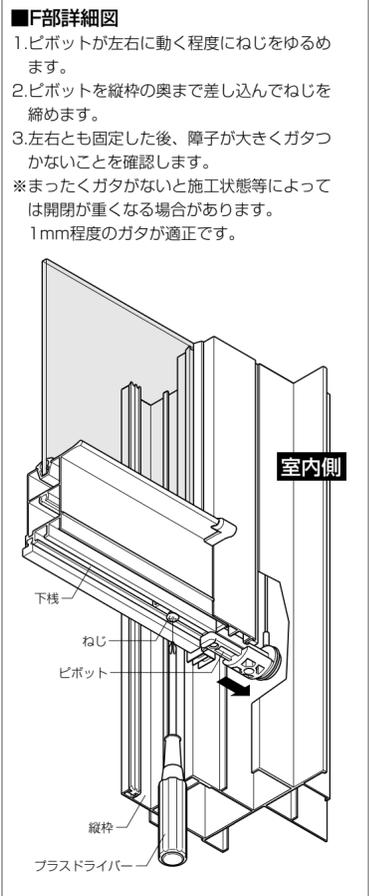


■E部詳細図

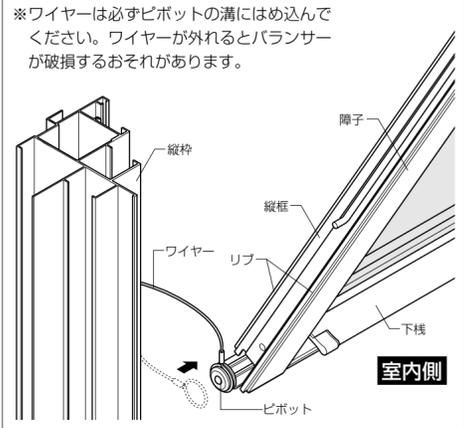


※障子は必ず水平にして、内倒し状態から起こしてください。障子を傾いた状態で起こすと、部品が破損することがあります。

■F部詳細図



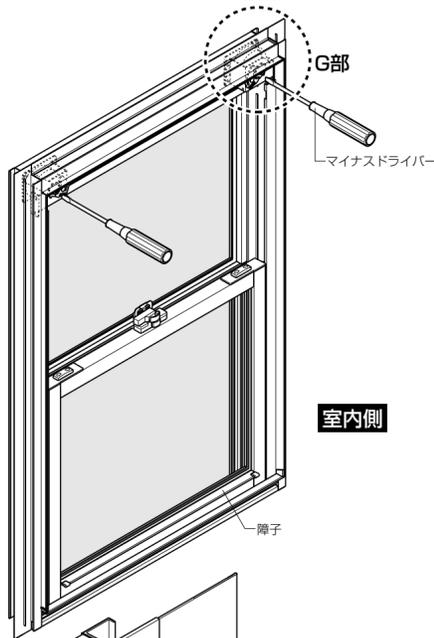
■C部詳細図



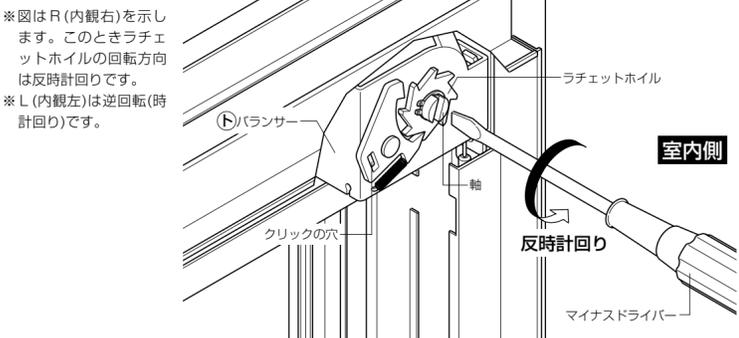
※ワイヤーは必ずピボットの溝にはめ込んでください。ワイヤーが外れるとバランサーが破損するおそれがあります。

■6 バランサーの調整

- ※バランサーの調整は、枠固定後にも必ず行ってください。
- ① 障子を一番下に下げます。
- ② 障子の上げと下げの力がほぼ同じになるよう、バランサーのラチェットホイールの軸をマイナスドライバーで回して調整します。
- ※左右とも同じ回転数にしてください。ラチェットホイールを回しすぎたときは、クリックの穴にマイナスドライバーを差し込んで回し、戻してください。



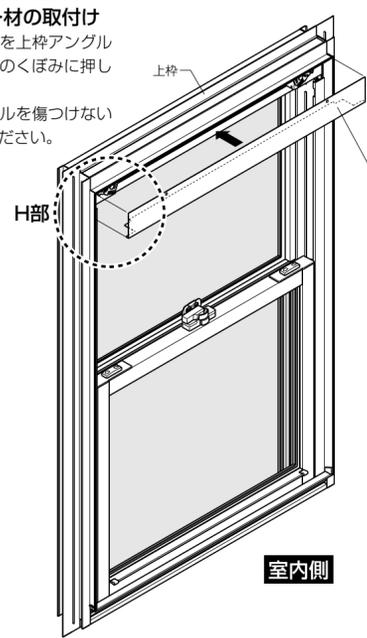
■G部詳細図



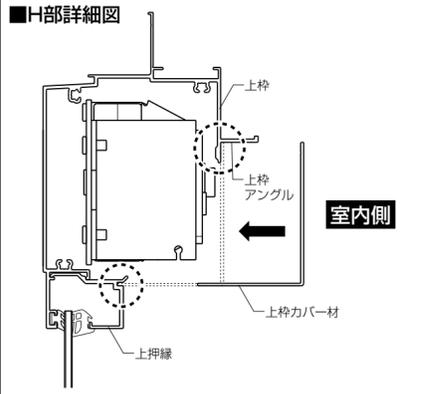
※図はR(内観右)を示します。このときラチェットホイールの回転方向は反時計回りです。
※L(内観左)は逆回転(時計回り)です。

■7 上枠カバー材の取付け

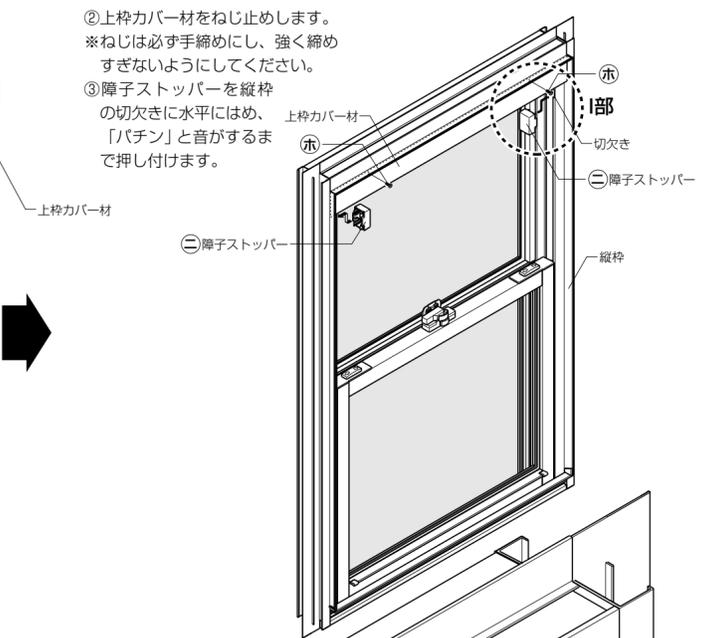
- ① 上枠カバー材を上枠アングル下部と上押縁のくぼみに押し当てます。
- ※左右のアングルを傷つけないようにしてください。



■H部詳細図



- ② 上枠カバー材をねじ止めします。※ねじは必ず手締めにし、強く締めすぎないようにしてください。
- ③ 障子ストッパーを縦枠の切欠きには水平にはめ、「パチン」と音がするまで押し付けます。



■I部詳細図

